

2020年度大学院授業アンケート結果概要

はじめに

本学大学院（修士課程）における授業アンケートは2005年度から開始されました。

大学院に開講されている全ての授業を対象として、春学期科目、秋学期通年科目ともに12月上旬に行い、その結果については、各研究科委員会に報告されてきました。また、この間、個別科目の回答結果の担当教員への返却、授業アンケート結果等を踏まえた授業改善報告書の作成等、大学院として教育の改善に取り組んできました。

授業アンケート結果については、従来各研究科委員会の中で報告が行われてきましたが、2018年度のアンケートから、学部における授業アンケート結果と同様、IR実施委員会の下で授業アンケート結果の分析を行うこととともに、2019年度から質問項目を一部変更するとともにWebアンケートによる方式に改めました。

各教員が担当する授業のアンケート結果に加えて、大学院全体としての結果を確認することによって、更なる授業改善につなげていく機会にさせていただければと考えています。

実施方法：

演習指導教員を通じて院生に実施を周知。Webアンケートにより実施

実施概要：

	臨床心理学	犯罪心理学	法学	経済・経営学	メディア情報学	計
在籍者数	6名	7名	3名	9名	5名	30名
履修科目数	92科目	36科目	9科目	34科目	33科目	204科目
回答科目数	49科目	20科目	2科目	16科目	24科目	111科目
回答率	53.3%	55.6%	22.2%	47.1%	72.7%	54.4%

Q1. どの研究科・専攻に所属していますか。

Q2. 何年次生ですか。

全体の回答率は54.4%であり、昨年度の63.1%、一昨年度の77.1%より低下しています。

また、学年ごとの回収率は、1年次生49.7%（80/161）、2年次生72.1%（31/43）であり、昨年度（1年次生65.5%、2年次生54.5%）、一昨年度（1年次生77.9%、2年次生74.5%）に比べ、1年次生の回答率が低下しています。

Q3. 主にどのような理由でこの科目を履修しましたか。

全体では1. 必修だからが64.0%（前年度35.0%）、4. 知識・技能を広げるためが17.1%（前年度18.5%）、2. 研究に必要だからが13.5%（前年度25.5%）、3. 将来の進路に役立つからが3.6%（前年度20.4%）の順となり、前年度に比べ、1. 必修だからの割合が高く、法学専攻以外で最上位を占めています。なお、選択肢5-8の内訳は、5. 先輩や友達にすすめられたから及び6. 時間割がつごうがよい

から 各 0.9%でした。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 必修	79.6%	70.0%	0.0%	56.3%	37.5%	64.0%
2. 研究必要	6.1%	0.0%	50.0%	31.3%	25.0%	13.5%
3. 進路に資する	2.0%	0.0%	50.0%	12.5%	0.0%	3.6%
4. 知識技能	10.2%	30.0%	0.0%	0.0%	33.3%	17.1%
選択肢 5-8	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	1.8%

Q 4. この科目の履修は、どのようにして決めましたか。決めるのに最も役に立ったものを1つだけ選んでください。

全体では、3. 教員の指導 が 29.7% (前年度 43.3%) と 6. その他上記以外 が 29.7% (前年度 1.3%)、2. シラバスを読んで が 22.5% (前年度 34.4%)、1. ガイダンスでの説明 17.1% (前年度 15.3%) と続き、その他上記以外の割合が高くなっています。

臨床心理学専攻では 6. その他上記以外 が 61.2% (前年度 0%)、2. シラバスを読んで が 14.3% (前年度 64.3%)、犯罪心理学専攻では、2. シラバス が 80.0% (前年度 26.7%)、3. 教員の指導 15.0% (前年度 42.2%) と傾向に変化がみられますが、総合政策研究科では指導教員による履修指導やガイダンスという傾向は変わりません。なお、選択肢 4-5 の内訳は、5. 先輩に相談 が 4.2% でした。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. ガイダンス	12.2%	5.0%	0.0%	0.0%	50.0%	17.1%
2. シラバス	14.3%	80.0%	0.0%	0.0%	8.3%	22.5%
3. 教員の指導	12.2%	15.0%	100.0%	100.0%	25.0%	29.7%
選択肢 4-5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.9%
6. 上記以外	61.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	29.7%

Q 5. 授業開始時に示されたシラバスに沿った授業が行われていましたか。

シラバスの実施に関しては、肯定的な回答が 94.6% (前年度 99.4%) という結果になり、臨床心理学専攻以外の 4 専攻は肯定的な回答のみでした。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. きちんと	57.1%	95.0%	100.0%	100.0%	75.0%	74.8%
2. ある程度	30.6%	5.0%	0.0%	0.0%	25.0%	19.8%
3. どちらとも	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
4. 5 沿っていない	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

Q 6. この科目の到達目標は明確に示されていましたか。

到達目標の明示については、肯定的な回答が 86.5% (前年度 100.0%) を占め、否定的な回答はありませんでしたが、3. 何ともいえない が 13.5% (前年度 0.0%) と増加しています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん明確	20.4%	90.0%	100.0%	100.0%	79.2%	58.6%
2. かなり明確	53.1%	5.0%	0.0%	0.0%	16.7%	27.9%

3. 何ともいえない	26.5%	5.0%	0.0%	0.0%	4.2%	13.5%
4. 5. 不明確	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 7. この科目の欠席回数は何回でしたか。

欠席回数 0 回が 83.8%（前年度 66.9%）と大幅に割合が高くなっていますが、4 回以上という回答も 9.0%（前年度 0.6%）と増えています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 0 回	79.6%	90.0%	100.0%	81.3%	87.5%	83.8%
2. 1-3 回	0.0%	10.0%	0.0%	18.8%	12.5%	7.2%
3. 4-7 回	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
4. 5. 8 回以上	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%

Q 8. 授業時間以外に、この科目のために一週間に平均してどれぐらい勉強しましたか？

授業外学習時間については、経済・経営学専攻を除き、全体的に選択肢 1. 2 の割合が低くなり、選択肢 5. 6 の割合が高くなったことから、時間数が少なくなったといえます。なお、前年度と同様に各専攻の必修演習科目では回答 18 件中 14 件が 1. 2（2 時間以上）を選択（前年度は 17/20）していることから、講義科目等に比べ、比較的学習時間をかけていることが伺えます。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 4 時間以上	6.1%	15.0%	50.0%	56.3%	25.0%	19.8%
2. 4-2 時間	20.4%	5.0%	0.0%	18.8%	33.3%	19.8%
3. 2-1 時間	16.3%	60.0%	50.0%	18.8%	37.5%	29.7%
4. 1 時間-30 分	22.4%	15.0%	0.0%	6.3%	4.2%	14.4%
5. 30 分以下	20.4%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.9%
6. 0 分	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

<前年度参考>

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 4 時間以上	25.0%	26.7%	100.0%	13.3%	35.7%	31.8%
2. 4-2 時間	3.6%	28.9%	0.0%	33.3%	14.3%	19.1%
3. 2-1 時間	32.1%	22.2%	0.0%	16.7%	23.8%	21.7%
4. 1 時間-30 分	32.1%	20.0%	0.0%	36.7%	23.8%	24.8%
5. 30 分以下	7.1%	2.2%	0.0%	0.0%	2.4%	2.5%
6. 0 分	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 9. テキストや配布資料などは授業を理解するうえで役に立ちましたか。

テキストや配布資料が役立ったという回答が 93.7%（前年度 97.5%）を占めており、前年度とほぼ同様の結果になりました。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	42.9%	85.0%	100.0%	100.0%	70.8%	65.8%

2. かなり	46.9%	5.0%	0.0%	0.0%	29.2%	27.9%
3. どちらとも	4.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
4. あまり	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
5. 全く	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 使われなかった	4.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%

Q 10. 担当教員は意欲的に授業をおこなっていましたか。

各専攻とも9割以上が教員の意欲を感じたと回答96.4%（前年度99.4%）しており、また、選択肢4-5の回答はありませんでした。なお、前年度よりも1.たいへん意欲的だったを選択した回答の割合がやや低下しています（1.たいへん75.2%、2.かなり24.2%、3.どちらともいえない0.6%）。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	53.1%	85.0%	100.0%	93.8%	58.3%	66.7%
2. かなり	38.8%	15.0%	0.0%	6.3%	41.7%	29.7%
3. どちらとも	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
選択肢 4-5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 11. この科目の進みぐあいは適切でしたか。

授業進度については、各専攻ともに適切とする回答が80%以上を占め、全体では90.1%（前年度79.0%）が適切と回答しており、前年度に比べ「早い」と感じた回答の割合が減少しています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 非常に速い	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	16.7%	6.3%
2. かなり早い	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
3. 適切だった	91.8%	100.0%	100.0%	81.3%	83.3%	90.1%
4. どちらかといえば遅かった	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%
5. 非常に遅かった	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 12. この科目が目指している知識や能力や技術が身につけてきていると感じましたか。

身についた知識・能力・技術については、84.7%（前年度98.7%）が肯定的な回答をしています。臨床心理学専攻については、他の4専攻とやや傾向が異なっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 十分に	6.1%	65.0%	100.0%	93.8%	54.2%	41.4%
2. ある程度	61.2%	30.0%	0.0%	6.3%	45.8%	43.2%
3. どちらとも	28.6%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.5%
4. あまり	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
5. 全く	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%

Q 13. この科目をうけてあなたの研究（テーマ）への手掛かりを得られましたか。

臨床心理学専攻では3.どちらともいえない及び4.あまり得られなかったが一定の割合を占めていますが、他の4専攻では、1.たいへん得られたの割合が高くなっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	12.2%	90.0%	100.0%	81.3%	54.2%	46.8%
2. かなり	30.6%	10.0%	0.0%	18.8%	45.8%	27.9%
3. どちらとも	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%
4. あまり	30.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.5%
5. 全く	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q14. この科目に対するあなたの学修及び研究に対する取組を自己評価してください。

取組自己評価については、88.3%（前年度 99.4%）が肯定的な回答をしています。この設問についても、臨床心理学専攻については、他の4専攻とやや傾向が異なっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	16.3%	80.0%	100.0%	93.8%	50.0%	47.7%
2. かなり	59.2%	15.0%	0.0%	6.3%	50.0%	40.5%
3. どちらとも	16.3%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.1%
4. あまり	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
5. 全く	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

まとめ

2020年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、授業の実施方法等について、大幅な変更が生じたこと、また、今回のアンケートが設問を変更してから2回目に当たることから、前年度回答との比較を中心に分析を試みました。

各設問の回答については、前年度と同様、肯定的な回答の割合が比較的高い傾向は続いています。Q3. 科目履修理由、Q8. 自習時間、Q13. 研究（テーマ）等では、前年度の回答から傾向の変更が見られ、専攻別では臨床心理学専攻と他の4専攻で傾向に違いが見られました。

これらの傾向変化が、授業方法等の変更によるものか、回答者の変化によるものかは、他の要素等の照合を要しますが、2021年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響による授業の実施方法等の変更が生じることから、各専攻のFD等における検討や検証等を要すると考えています。

以上